

# 石川町 議会だより



No. 183

平成27年 8月1日

発行/石川町議会  
編集/石川町議会広報  
編集特別委員会

▲そこっ!! そこだ!! 行け!! (石川文化幼稚園)

2015

6月定例会

P3 6月定例会審議結果

P4 紙上中継 (各常任委員会)

P5 6月定例会一般質問 (町政をただす)

P14 あれからどうなった?  
(一般質問のその後は)

# 日曜議会が開かれ 一般質問を21人が傍聴

6月  
定例会

## 国保税1世帯当たり19万625円（2.58%減）

平成27年度の国保税は、被保険者の負担軽減のため、前年度の決算余剰金のうち、6750万円を減税にあて、算出しました。

課税額全体では、1世帯当たり前年度比5041円の減、率にして2.58パーセント減の19万625円となり、1人当たりでは、前年度比2133円の減、率にして1.80パーセント減の11万6507円となります。

### 【医療分基礎課税額】

区分	現行	改正案	比較	
所得割	8.71%	8.69%	▲0.02%	
均等割	21,140円	21,090円	▲50円	
平等割	一般世帯	20,320円	20,070円	▲250円
	特定世帯	10,160円	10,035円	▲125円
	特定継続世帯	15,240円	15,053円	▲187円

### 【後期高齢者支援金課税額】

区分	現行	改正案	比較	
所得割	3.25%	3.21%	▲0.04%	
均等割	8,180円	8,080円	▲100円	
平等割	一般世帯	7,090円	6,930円	▲160円
	特定世帯	3,545円	3,465円	▲80円
	特定継続世帯	5,318円	5,198円	▲120円

### 【介護納付金課税額】

区分	現行	改正案	比較
所得割	3.55%	3.46%	▲0.09%
均等割	12,270円	12,020円	▲250円
平等割	7,590円	7,450円	▲140円

6月定例会は、6月11日から16日までの6日間の会期で開かれました。  
 税条例等の改正、専決処分や補正予算など8議案が提案され、原案のとおり可決したほか、請願2件、議員発議1件を審議しました。  
 また、一般質問は14日(日)に「日曜議会」として開き、8人の議員が町政に対し質問しました。  
 傍聴には、本会議(一般質問)に21人が訪れました。



あなたから  
出された請願

石川スケート場の整備と存続に関する請願

#### 審査結果 【採択】

請願者 石川スケートクラブ 会長 熊田重信

請願の理由 将来を担う

子どもたちが、可能性を發揮できる場として、また、町民の身近なスポーツと、健康増進を図る施設として、石川スケート場の整備と存続を強く要請します。

「戦争法制定に反対する」意見書の提出を求める請願

#### 審査結果 【採択】

請願者 社会民主党石川総支部 芳賀正人

請願の理由 平和憲法下

のわが国の基本政策を転換し、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるものであり、とうてい認めることとはできないことから「戦争法制定に反する」意見書の提出を求める。

# 6月定例会の審議結果

議案番号	件名と主な内容	議員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
		議決結果	草野 伝明	下山田和雄	関根 武一	渡邊 貴	秋山 茂雄	遠藤 貫蔵	永沼 一夫	角田 忍	関根 信次	矢内 義将	中村孝太郎	山田 英重	二瓶 義雄	大野 肇
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて (石川町税条例等の一部を改正する条例) 軽自動車税の減免申請の期限変更、また原動機付き自転車及び二輪車に係る税率について適用年度を変更	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第49号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度石川町一般会計補正予算-第9号) 事務事業の確定と、国民年金事務費交付金、乳幼児医療費助成事業費補助金等を増額補正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	石川町税条例等の一部を改正する条例 地方税法や関連法令の一部改正に伴い、個人町民税、固定資産税、軽自動車税及びたばこ税で所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	石川町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例 国民健康保険税課税額のうち、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の課税限度額を引き上げるほか、低所得者の負担を軽減	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第52号	平成27年度石川町一般会計補正予算(第1号) 水田利活用自給力向上事業に511万3000円、町指定文化財補修事業費補助金として1000万円を増額計上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第53号	平成27年度石川町介護保険特別会計補正予算(第1号) 保険事業勘定で、前年度繰越金を財源に国庫支出金等返還金を増額計上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第7号	石川スケート場の整備と存続に関する請願 請願者：石川スケートクラブ会長 熊田重信	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第8号	「戦争法制定に反対する」意見書の提出を求める請願 請願者：社会民主党石川総支部 芳賀正人	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第54号	新石川小学校用地造成工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第55号	新石川小学校校舎建築工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第9号	戦争法制定に反対する意見書 提出者：関根武一議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

**議案第54号**  
新石川小学校用地造成工事請負変更契約の締結について

転石・岩盤による排水施設工事等や、新校舎進入路法面工法の変更などにより、工事内容に変更が生じたため、請負金額を1818万2880円増額し、総額8460万2880円に変更。

**議案第55号**  
新石川小学校校舎建築工事請負変更契約の締結について

建築基準法の改正に伴い、多目的室天井工事や空調設備の管理システム、厨房の給湯配管の変更などにより工事内容に変更が生じたため、請負金額を739万4760円増額し、総額1億1566万3800円に変更。

## 議員発議

発議第9号  
戦争法制定に反対する意見書  
提出者 関根武一

政府は、第189通常国会に「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」の2法案を提出しました。戦争を放棄し、戦力の不保持を定めた憲法に反することは明らかであり、戦争を準備するための「戦争法案」というべきものです。

平和憲法下のわが国の基本政策を転換し、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるものであり、とうてい認めることはできません。つきましては、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を速やかに撤回し、2法案の制定を断念することを強く求め、意見書を提出するものであります。

※、国・関係省庁等へ提出しました。



総務産業建設常任委員会

Q スケート場廃止の経緯は

A 集中改革プランで、不採算部門を検討

Q スケート場の運営状況は

A 昭和57年12月に完成、33年が経過し、人件費を除き約700万円の維持管理経費がかかっており、使用料の200万円を差

し引いても500万円の町負担が生じています。

Q スケート場をどうにするか、町だけの都合で廃止を決定するのはなぜか。利用者等の意見をしっかりと聞くべきだ。



▲存続が望まれるスケート場

A 平成16年から行財政改革の中で母畑レークサイドセンターの効率的な運営を検討し、食堂の改善や海洋センタープールの廃止を行ってきた。スケート場の廃止については、利用者

等への説明が不十分であり、ご迷惑をおかけしました。

Q スケート場の廃止については、母畑レークサイドセンター全体の運営を含め、十分に検討してほしい。

A 施設の老朽化により、

設備更新への大幅な負担は困難であることから、今後は限られた経費の中で、効率的な運営を進めたいと思います。

【意見】 町の政策について、町民の代表である議員に対してしっかりと説明してほしい。

文教厚生常任委員会

Q 国保税率の引き下げ改正の要因は

A 被保険者数の減と、医療費の伸びが縮小

Q 昨年度と比較して国保税率が下がっている。国保税率算定の基礎となる医療費の伸びが減少した要因は何か。

A 国保税率の算定で、昨年度との大きな違いは、制度により町国保に交付される交付金のうち、65歳から74歳までの前期高齢者の加入割合などによって交付される前期高

齢者交付金が増加して、国保特別会計の収入が多くなっています。

また、支出の大部分を占める医療費の伸びについては、被保険者の数が減少し、一人当たりの受診回数や医療費の額も増加はしていますが、以前ほど伸びていないので医療費全体の伸び幅が縮小しています。



▲南町サロン

Q 健康サロンの実施も医療費の伸びが減少した要因なのではないか。

A サロンの効果について、分析は行っていないのでわかりません。国保の医療費の中では、前期高齢者の医療費の割合が大きいため、前期高齢者の数が医療費に影響するものと考えています。

平成25年度と平成26年度を比較すると、前期高齢者の増加率が低かったことで、医療費の伸びが減少した要因のひとつと考えられます。

# 町政をただす

下山和雄議員 (P7)



関根 信次議員 (P6)



矢内 義将議員 (P9)



草野 伝明議員 (P8)



秋山 茂雄議員 (P11)



渡邊 實議員 (P10)



中村孝太郎議員 (P13)



永沼 一夫議員 (P12)





関根 信次議員

## Q あるのか企業進出・経済効果

## A 雇用による所得拡大と税収確保

**質問** 町活性化の観点から、企業誘致や進出をどのように位置づけているか。

**答弁** 新たな企業立地は、定住の促進と雇用の創出を図り、地域経済を活性化させる重要な条件。第5次総合計画後期基本計画で、重点改善施策と位置付けて誘致活動を進めています。

**質問** 企業の財務内容や企業体質等は審査しているか。

**答弁** 工業用地の売却にあたっては、企業の業種・業態のほか、財務内容等を含むこれまでの事業実績、投資予算額、新たな地元雇用の見込み、立地後の周辺環境に与える影響等について、直接聞き取りをしています。



▲藤沢工業団地

また、有価証券報告書等の公開情報や、民間調

査機関等からの情報を取  
得するなどの調査を行っ

ています。

**質問** 企業進出が、地域に及ぼす経済効果や活性化効果は。また、雇用の点はどうか。

**答弁** 土地の売却という直接的な効果に加え、継続的な雇用が発生し、町民所得が拡大すること。また、安定的に税収が確保されることや、地元企業への受発注が発生するなど、地域経済活性化に大きな影響を与えています。

**質問** 企業立地促進の優遇措置は。

**答弁** 町企業立地促進条例により、町内に工場等を新設、増設、移転する事業者に対して、奨励金を交付しています。

また、工場立地法に定める緑地面積率や環境施

設面積率を緩和する措置を講じています。

**質問** 付帯工事やアクセス道路等の補助金はあるか。

**答弁** 進出企業に対する具体的な補助制度は、設けていません。

地域の実情や、周辺住民の方との意見交換、情報の共有を行いながら、企業側と地域との調整を図るなど、側面的な支援を行っています。

**質問** 産業廃棄物等の公害防止協定は結んでいるのか。

**答弁** 公害防止のため、特に必要があると判断した場合は、協定を締結しますが、現在、協定を締結している事業者等はありません。

**質問** 今後、企業進出の

見込みはあるか。

**答弁** 現在、国や県の大規模企業立地補助金の活用を奨励しながら、関係機関と連携を図り、誘致活動を行っている段階に至っていますが、公表できる段階に至っていない案件はありません。

引き続き、雇用の創出や地域経済の活性化のため、誘致活動を進めます。

# Q どうする。ふるさと納税者への返礼品

## A 地元特産品も含め検討する

下山田和雄議員



**質問** ふるさと納税者へのお礼品として、地元特産品を贈る考えは。

**答弁** 現在、返礼品として、プリペイドカードをお送りしていますが、今後は町のPRを兼ねた返礼品として、地元特産品も検討してまいります。

**質問** ふるさと納税の拡大と、まちなか再生を伺う。

**答弁** ふるさと納税の拡大を図るためには、町内外の多くの方々に「石川町に寄付をしてみたい」と思ってもらえるようなまちづくりを進めていくことが何より大切なことだと考えております。今後につきましても、

魅力的なまちづくりや広報活動の充実に努め、ふるさと納税の拡大を図っていくとともに、PRも含めて自然景観の維持、住民自治のコミュニケーションの醸成と文化スポーツ振興に寄付金を財源とし「ふるさと石川のまちづくり」を積極的に進めていきます。

**Q 観光資源さくらについて**

**A 老朽桜の保全管理に努める**

**質問** 桜谷を守るための樹木医の配置について。

**答弁** 今出川と北須川の桜並木は、約2000本が植栽されており、そのうち昭和20年代に植えられた約200本が、樹齢65年を経過する状況となっております。

ソメイヨシノの寿命は、約60年から80年であると言われていることから本年は、福島県都市公園緑化協会の樹木医にアドバイスを頂きながら、試験的に土壌改良を実施する



▲観桜者に大好評だったさくらボランティア

予定です。

樹木医の配置については、植栽の数や観光資源であることを考慮し、今後、検討していきたいと思えます。

**質問** 樹木の腐敗や老木の対応は。

**答弁** 桜の樹勢回復を図るため、昭和50年代からアメリシロなどの病害虫駆除やテングス病の除去、枝の剪定や施肥などを行い、老朽桜の保全管理を図ってきました。

また、ヨシノ桜については、従前の保全管理はもとより、先進地の管理方法を取り入れ、育成環境を整え、老朽桜の樹勢が維持できるように努めていきます。

**Q 廃校の有効活用について**

**A 町民の貴重な財産なので地域の皆さんと協議を重ねていく**

**質問** 廃校の有効活用について、具体的な検討状況は。

**答弁** 石川小学校については、文教福祉複合施設としての活用を検討しています。

山形小学校については、校舎を学校法人石川義塾の寄宿舎として、利活用を図ることで進めています。

中谷第一小学校については、町の行政文書、自由民権運動の関係書類などを保管する場所として考えています。

これ以外の学校については、「廃校利用の利活用に関する基本方針」に基づき、地域住民の合意のもと進めていきたいと考えています。

**要望** 廃校の有効活用については、地域の交流の場としての活用を。また、雇用が生まれるような利活用も要望します。



草野 伝明議員

## Q 母畑開パ、償還金未納者増の対策は

### A 軽減対策は関係市町村・機関と連携

**質問** 増え続ける耕作放棄地への対策は。

**答弁** 農産物価格の低下や高齢化により、さらに耕作放棄地の増加が懸念されます。今後は地域の振興、作物の作付けを推進し、いかに耕作放棄地を有効活用できるかなど、各関係機関と協議し取り組んでいきます。

**質問** 米価下落に対する新たな対策は。

**答弁** 昨年の米価下落は、担い手農業者の生産意欲を後退させています。町では稲作に取り組む農業者に、たねもみの購入を助成する米生産意欲向上支援緊急対策事業、担い手農業者の経営面積の減少を防止するため、受託作業の面積に応じて助成する水田作業受託者支援

事業に取り組んでいます。

**提案** 水田作業受託者支援事業は、作業受託者より耕作受託者に支援するほうが、耕作放棄地の対策にも有効だと思ふ。

**質問** 母畑開パ、償還金未納者増に対する、町の取り組みは。

**答弁** 昨年の米価下落が農業経営に深刻な事態を招いており、事業償還金未納額の増加が懸念されます。事業償還金の軽減対策については、引き続き関係市町村、さらに県内4つの土地改良区とともに統一的な要請活動を行っていきます。

**質問** 償還金については、当時米1俵という約束だったが今は2俵以上行政がもっと積極的にかかわるべきでは。

**答弁** 私も副理事長として開パの問題については責任を感じています。このままでは開パに関連している農家は破産してしまふという話も聞いています。今後も皆さんの意に沿うように、おもだつた方とも集まりをもちながら、独自性を出した活動を展開していきたいと思つていきます。

**要望** 事業償還金は残り18年もあります。組合員の高齢化や後継者不足で未納者の増加が予想されます。ぜひ今後も関係市町村が連携を取り、県に対し強力な要望活動をお願いします。

**質問** 新たな「道の駅」の構想はあるか。

**答弁** 現在具体的な検討はしていないが、直売所施設等の整備を推進する上で必要な施設と考えていますので、庁内の推進体制を含め各機関と協議を進めていきたいと考えています。

**質問** マイナンバー制度について、町民への詳細な説明はあるのか。

**答弁** マイナンバー制度を有する方に12桁の個人番号を通知し、来年1月から個人番号カードの交付を開始する予定です。町民の皆様には制度の趣旨や内容、具体的な利用目的、通知・交付等の広報、情報活用とそれに伴う安全管理等について広報紙を活用し、お知らせしたいと考えています。

**Q** 石川スケートセンター老朽化に伴う町の取り組みは

**A** 財政負担が大きく、廃止を視野に検討

**質問** 石川スケートセンター老朽化に伴う今後の取り組みは。

**答弁** 建築後33年が経過し、施設全体の老朽化をはじめ、冷凍機等の機械についても耐用年数が経過しています。今後、大規模な修繕をして、継続して施設を維持していくには、多大な財政負担を要することから、廃止を視野に検討していく考えです。

**質問** 財政負担が大きいというだけで、これだけ好評で利用者の多いスケートセンターを廃止していいのか。

**答弁** 強い再考の要請もあり、今後は最小限の修繕で運用ができるならば、もう少し時間をかけながら検討し、要望に応えていきたいと思ふます。





# Q 新石川小学校の送迎は

## A 送迎車の駐車場を検討したい

矢内 義将議員



**質問** 児童の約7割が送迎により通学していると思うが、その対応は。  
**答弁** 石川小学校の児童数は6月1日現在507名のうち通学援助対象者で、登校において通学専用バスまたは路線バスを利用してはいる児童は166名。下校において通学専用バスまたは路線バスを利用してはいる児童は162名となっています。その他の児童につきましては、徒歩または保護者等による送迎で登下校しているところですが、雨天時など天候が悪い日には、送迎車両が増える傾向にあります。

**質問** 朝や夕方に駐車場が混雑するが、新校舎完成まで安心して送迎できるように検討する考えはあるか。  
**答弁** 統合石川小学校が開校し、本年4月から旧石川小学校校舎を仮校舎として使用していることから、児童の送迎車両につきましては、現在、石川町共同福祉施設駐車場と町民グラウンド駐車場を利用していただいています。

登校時は児童を降車させるための停車で済みませんが、下校時につきましては、児童が学校から出てくるまで保護者等が待機することになり、そのための場所の確保が必要となっていることが課題となっています。

新校舎へ移行後も、児童が安全に乗降できる送迎車の駐車場は必要であり、現在利用している町民グラウンド駐車場や共同福祉施設駐車場、通学バス発着場の一部など、極力、徒歩やバスにより通学している児童の支障とならないような場所を



▲完成が待たれる新石川小学校

候補地として、検討を行ってまいりたいと考えています。

**質問** 学校側も西駐車場と東駐車場として取り組んでいるが、石川中学校の敷地スペースがあれば

活用できるような協議できないか。  
**答弁** 石川中学校の敷地の一部や野球場周辺、町民テニスコート脇の駐車場の活用なども含め、関係者と協議しながら検討

します。

### Q 現在、町の経常収支比率は

### A 平成25年度で82・9パーセントです

**質問** 本町の財政について現在の経常収支比率は何%か。

**答弁** 平成25年度で82・9パーセントになっています。

**質問** 現在の町債総額は。  
**答弁** 平成26年度末で53億6742万7000円となります。

**質問** 今後の返済は何年かかるか。

**答弁** 同年度末までに借り入れた町債にかかる最長の償還年数は、平成56年度までの30年となります。

**質問** 町民1人当たりの町債、金額はいくらになるか。

**答弁** 町民1人当たりの町債の額は、平成27年4月1日現在の人口は1万6463人ですので、1人当たり32万6000円となります。



渡邊 實議員

## Q 戦後70年、不戦の継承を

# A 不戦、恒久平和の誓いは未来永劫継承する

**質問** 今年には戦後70年、節目の年。改めて、戦争の悲惨さや残酷さを伝え、平和を考える機会とするべきで、町長の考えは。

**答弁** 私も戦前生まれ、広島や長崎の悲惨さを見れば、恒久平和は継承します。

**質問** 戦後50年の時、町議会は「核廃絶、不戦、平和の町」宣言を行っています。これの継承は。

**答弁** 町は「平和の誓い」を発刊し、広島、長崎の原爆投下や終戦の日に黙祷、サイレン吹鳴を行い、継承しています。

また、昨年結成された「平和首長会議」にも加盟しました。

不戦、恒久平和の誓いは未来永劫、継承していかねばなりません。

**質問** 職員研修や教育面での考えは。

**答弁** 職員研修や学校教育、社会教育でも平和教育を取り上げていきます。

**要望** 戦後70年記念事業の取り組みを要望します。

**Q 新庁舎で、交通弱者対策は**

**A マイクロバスの運行と公民館に窓口を設置**

**質問** 新庁舎の周辺道路の整備状況は。

**答弁** 新庁舎裏の接続道路は敷地の係争状況を見極め、判断します。

町道大内線は調査概略設計が終了し、本年度約400mの測量設計を計画、町道古館から長久保線は将来的に改良整備を

検討します。

**質問** 安全確保の整備は。

**答弁** 国道118号線、鹿ノ坂からの左折レーン、野木沢からの右折レーンを設置します。

**質問** 交通弱者の対策は。

**答弁** 街中から新庁舎までマイクロバス等を運行します。公民館に、各種証明書が交付できる窓口機能を設置します。

**Q 若者の定住政策は**

**A 住宅及び子育て支援、雇用確保に努めます**

**質問** 若者の定住政策は、地方創生の中心政策です。まず、住宅政策は。

**答弁** 平成30年まで、町営住宅12戸を建設します。更に、空き家調査を行い、空き家バンクを創出し、活用します。

**質問** 町有地の無償譲渡や安く売買する考えは。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 子育ての支援策は。

**答弁** 保育所の充実、放課後児童クラブや子ども教室を充実させました。

保育料も国基準より1割以上引き下げ、また、今年度から小中学校の給食費半額補助を行います。

**質問** 子どもの屋内遊び場の常設は。

**答弁** 現石川小移転に伴い、設置を考えています。

**Q マイナンバー制度は**

**A 10月に個人番号を通知**

**質問** マイナンバー制度の概要は。

**答弁** 社会保障、税、災害対策の分野で、複数の機関に存在する個人情報と同一人の情報と確認し、活用するものです。

10月に個人番号を通知。平成28年1月から個人番号カードを配布し、同29年7月から国、地方公共団体等を含めた個人情報連携が開始されます。  
**要望** 町民説明会の開催を要望します。



▲戦後50年に町民有志によって建てられた「平和の像」

# Q 公用車の選定基準は

## A 予算との整合性を図って選定

秋山 茂雄議員



**【質問】** 町内の主な事業所の軽自動車のほとんどが4ナンバー、2ボックスも4ナンバー、公用車が5ナンバーの理由は。

**【答弁】** 日々の業務の中で、乗り降りが多く、車検時の修繕がかかるため、環境に配慮した5ナンバーが増えました。

**【意見】** 軽バンも、2ボックスも、エンジン・ボディ等同じものであり、修繕や環境配慮は理由にならない。

**【質問】** 公用車の台数が多すぎるのでは。

**【答弁】** 公用車合計51台で必要最少の中で、業務をしている状況です。

**【質問】** 角田市長が、角田

市内にホンダの会社があるため、公用車はシビツクを利用してはいるが、町長の考えは。

**【答弁】** 自治体の中で、判断すればよいと思う。町長公用車として使用している「サイ」は妥当だと思う。

**【質問】** 町内にホンダの部品を取り扱うセキダイ工業があるが、ホンダの軽自動車を採用してはどうか。

**【答弁】** 今後、参考にした。

**【質問】** 車検は、入札落札業者が引き継ぎ、指定業者で落札最多は12台、最少は1台と偏りがあるが、平等に振り分けるべきでは。

**【答弁】** 苦情が出ていないので、問題はないだろうと考えている。

**【意見】** 今回、一般質問で公用車を取り上げたのは、公用車の中にエアロタイプの車を見かけたからで、羽のついた公用車は1000ccであろうが、軽自動車であろうが、不要である。町民の税金が

入っている事を頭の片隅において、公用車の選定をしてほしい。

**Q 公園以外の造園業者への発注は**

**A 藤沢工業団地を予定している**

**【質問】** 5公園管理の発注は。

**【答弁】** 5公園一括して発注。

**【質問】** 公園以外の造園業者への発注はあるか。

**【答弁】** 町内に点在する桜の保全や、藤沢工業団地の業務を発注する予定です。

**【質問】** 芝、樹木、花壇の積算であれば、樹木や、花壇だけを外して、指名業者に回すことはできないか。

**【答弁】** 今後の課題にした。

**【要望】** 石川町は、みんなが主役とうたっている。一部が主役ではなく、みんなが主役になるよう、配慮していただきたい。

**Q 新庁舎への引っ越し費用は**

**A 8000万円以下に抑える**

**【質問】** 新庁舎への引っ越し費用と、備品購入は。

**【答弁】** 無線、防災システム、震度計等の移設とサーバー等の配線費5700万円、主な備品は、町産材活用の家具、防災書庫及びラック1800万円、議場、正庁用机・椅子等2500万円、事務用キャビネット、職員用椅子等は極力再利用で

8000万円以下に抑える。

**【意見】** 茨城県白里町は1億3000万円の備品購入費用を、廃校から540点再利用品を集め、50万円程度に抑えた。

また、引っ越し費用を2000万円見積もっていたが、ボランティアや職員が行い、業者は専門業者ではなく、資材運搬業者等に発注し300万円に抑えた。

本町でも参考にし、予算を徹底的に削減していただきたい。



▲管理委託されているクリスタルパーク



永沼 一夫議員

## Q 新庁舎の進捗状況は

## A 全体の0・5%で順調に進行

**質問** 新庁舎の進捗状況は。

**答弁** 5月23日までに24本すべての打設が完了し、その後打設した杭頭処理の工事、構造物をつくるために地面を掘り下げる根切りを行っています。新庁舎建設工事の進捗状況は現在、全体の約0・5パーセントですが、計画工程より1週間程度早いペースで順調に進んでいます。

**質問** 庁舎建設は免震工法での計画だが問題はないか。

**答弁** 建築用免震ゴムについて、大臣認定の一部につき不正取得を行っていたことが判明し、地震を抑える性能が低い材料が使われている実態が明らかとなりました。



▲基礎工事まで進んだ新庁舎

新庁舎に使用される免震ゴムにつきましては、本年4月に施工業者から提出された使用材料リスト承認願いでは、問題となつた事業者とは違う事業者の免震ゴムを採用したい旨の提出があり、その承諾をしました。

新庁舎の免震装置につきましては、全く問題のない免震ゴムを使用することになりますので、ご安心いただきたいと思います。

**質問** 新庁舎の職員駐車

場確保は。

**答弁** 新庁舎の駐車場は103台分のスペースを確保できますが、町民の皆さんにご利用いただく駐車場は50台、公用車が30台で職員の駐車場としては50台しか確保できません。新庁舎に勤務する職員数は100名を超える予定であり、約50台程度の駐車場が不足すると考えられることから、周辺地区に適地がないか調査、検討し、新庁舎供用開始までには確保していきたいと考えています。

あり、学校間格差による学習や人間関係のトラブル等が懸念されたが、統合前からさまざまな連携や交流学習を通じて不安が払拭されるよう努力してまいりました。そうした努力の成果があらわれているものと思いますが、現在のところ統合に伴う児童生徒間での問題についての報告はありません。しかし、現在はいじめの問題は発生していませんが、今後どこの学校でも起こり得るものであり、早期発見、早期対応に努めてまいります。

**質問** 統合小・中学校になり2カ月余りが過ぎたが、児童生徒間での問題はないか。

**答弁** 統合小学校のスタートにおいては、小規模校、大規模校の統合が

また、「学校生活アンケート」を実施し、学校生活の状況把握に努めています。

ともに90パーセント以上が「学校に来るのが楽しい」「学習内容を把握している」と回答しており、現在のところ順調に学校生活を送っていると判断しています。

**質問** スクールバス運行について問題はないか。

**答弁** 運行当初には、登下校のバスに教職員や教育委員会職員が同乗し対応したこともあって、大きなトラブルもなく現在まで推移しています。バスを利用する児童生徒も徐々に慣れてきたところで、引き続き安全に登下校できるように関係者の協力を得ながら指導に努めてまいりたいと考えています。

# Q どうする。仕事量増大に対して職員減

## A 人がいれば仕事ができるわけではない

中村孝太郎議員



**【質問】** 新たな石川町定員管理計画策定の理由は、適正な定員管理が国からも要請されており、抑制基調の定員管理を継続することです。そこには今までの定員適正化計画で減らされた職場の労働環境の検証はありません。職員が、健康で安心して働き続けられる労働環境を確保するための、職員配置について伺う。

**【答弁】** 適正かつ計画的な職員採用、人材の育成、再任用職員の活用のほか、引き続き、事務事業の見直しや民間委託など、行政のスリム化、課・係の

再編や分掌事務など組織機構の見直しを図りながら、業務量に応じた人員配置に努めます。

**【質問】** 平成7年から25年までに86名減っているが、仕事は増えていることについて、どう認識しているか。

**【答弁】** 仕事量が増えています。人がいれば仕事ができるというのではなく、能力も勘案しなくてはなりません。

**【質問】** 町職員に対しては大変失礼な答弁です。庁舎内の電気が午後6時過ぎまでついているのが常態化していることをどう考えているか。

**【答弁】** 課の会議や個人的な話をしたりという事で強制しているわけではありません。

**【質問】** 町立墓地公園の建設は、町民への町長の約束です。建設がいつになるのか、具体的な計画を伺う。

**【答弁】** 施設組合の墓地公園に隣接する町有地が適地と考えていますが、地元との理解を得られない状

況にあり、引き続き理解を得られるよう努力してまいります。

**【質問】** 今出川・北須川沿いは、春には桜が咲き乱れ、野鳥なども多く見られる豊かな自然環境にありますが、にもかかわらず水環境は改善されませ

ん。合併処理浄化槽の普及状況と今後の計画を伺う。

**【答弁】** 平成26年度末の合併処理浄化槽の普及率は52・7%です。今後、汲み取り便槽や単独処理浄化槽から、合併処理浄化槽への転換を推進してい

きます。

**【質問】** 町づくりが補助金獲得偏重など、作り手のみで行われ、使う側の住民参加の機会が少ないと指摘する研究者もいます。町づくりは、そこに住む人たちの暮らしをつくる事だと思えますが、商店の減少はそこで暮らす人たちの生活に大きく影響しています。まちなかの活性化や賑わいの創出に、商店の再生は優先的な課題です。

商店街再生の、具体的な施策を伺う。

**【答弁】** まちなかのにぎわいづくりの推進と、高齢者など買い物弱者のための公共交通ネットワークの整備やまちなか駐車場トイレの整備など日常生活に関わりの深い商店街と郊外の小売店舗との機能分担を図ります。中心市街地への定住化を図る住宅施策など地域商業の均衡ある発展、コミュニティの場としての商店街づくりを促進します。



▲人通りのない中心街

13

あれがらいつなつた？

# 一般質問のその後は

平成26年6月  
定例会より

## まちなか再生事業の 進捗状況は

●まちなか再生事業については、昨年11月に「まちなか再生行動計画」を策定し、平成27年度の予算に反映できるように進めていき、できるものについては取り組んでいるとの答弁だったが、その後の進捗状況は、

●まちなか再生事業の推進については、平成25年度にまちなか再生委員会から「まちなか再生行動計画」（案）が提案され、平成26年度に「まちなか再生行動計画」を策定した



ました。  
平成26年度事業として

ては、石川駅前トイレ整備、タウンマップ「いしかわ物語」の作成、鈴木重謙屋敷門復元や同母屋再建に向けて実施設計を行っています。

▲設置された「おもてなしトイレ」  
平成27年度事業については、まちなか再生事業の一部を国庫補助事業により実施するため、「都市再生整備計画事業」等について県と協議を進めている段階です。  
町単独事業としては、おもてなしトイレ

## 新石川小学校校舎建築工事の 進捗状況は

し、おもてなし駐車場を「ふくしまDOC」に合わせ実施継続しています。

今後は、文教福祉複合施設整備事業、鉱物資料館整備事業の基本計画の策定、旧森林技術センターを石川地方合同庁舎に改修、街路灯のLED化事業などを進めていく予定です。

●4月に旧石川小学校を仮校舎として新石川小学校がスタートしたが、新校舎は10月に予定通り供用となるのか。

の変更、また建築工事では、建築基準法の改正に伴う多目的室天井工事や空調設備の管理システムなどについて変更を行っております。本年9月18日の工期内に完成し、予定通り供用が開始できる見込みです。

●新石川小学校は、去る4月6日に開校式を行い、新たな歴史を築いていくこととなりました。  
新石川小学校の校舎建築工事の状況ですが、現在は内装関係の工事を行っており、進捗率は5月末現在で約70パーセントとなっています。



▲工事が進む新校舎

# 報告します 議会の活動

## 広報紙づくりを学ぶ



▲議会広報研修会での受講風景

5月20日、ビッグパレットふくしまにおいて町村議会広報研修会が開催されました。

研修会ではグラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え「議会広報紙における紙面表現の基本」をテーマに広報紙づくりの実践的な技法について受講しました。

読みやすい紙面にするには、文字だけで内容

説明するのではなく、図や表、写真等を有効に使い視覚化を図ることが効果的であるとのことでした。

また、議会広報クリニクでは、講師から「石川町議会だより」の良い点、改善点等のアドバイスを受けましたので、今後の議会広報編集に生かしていきたいと思えます。

## 自治功労表彰

6月5日に開催された、平成27年度福島県町村議会議長会定期総会において、町村議会議員として20年以上在職の二瓶義雄副議長、中村孝太郎議員が表彰されました。

また、町村議会議員として11年以上在職の角田忍議員、永沼一夫議員、遠藤貢蔵議員が長年の功績が認められ、6月定例会の初日に大野議長より伝達表彰が行われ、同僚議員からは祝福の拍手が送られました。



▲自治功労表彰伝達

## 姉妹都市議員と親善交歓会

5月18日、姉妹都市である宮城県角田市の議会議員との親善交歓会が行われました。

今年には石川町の母畑レークサイドセンターに招きグランドゴルフで交流し、親睦を深めました。

晴天にも恵まれ、競技中は互角の戦いでしたが、僅差で石川町議会チームが優勝しました。



▶全員で、はいチーズ！

# 未来に向かって!!

## ― 高校生の声 ―

県立石川高校

3年 根本 大成

### 二つの目標をカタチに

#### 〜 石菜祭成功に向けて 〜



根本大成さん

私は入学してから2つの目標を立て、それを実現させるため、努力をしてきました。

#### 一つ目の目標

私が弓道部に入学した理由は、入学時に部活動紹介で先輩方の射を見て「格好いいな、自分も射ってみてみたい」と思い入部しました。入部した時に決めた目標は、部活動で県大会に出場するということです。1年生の頃から



▲不動の心での的(目標)を射る

地道に練習を重ねた結果、3回出場することができました。

また、部活動が続けてきたことにより、目上の方に対する言葉遣いや礼儀作法を学び、技術的な

#### もう一つの目標

私は入学した頃から、生徒会活動にも興味を持ち1年生の10月に生徒会

面だけではなく、精神的にも成長することができました。今後、社会でも役に立てることができると思います。

弓道部では、部員同士で学年の隔てを超えて、腕を競い合い技術を高め、いく日々が続き充実していたため、とても短く感じました。競い合った日々は、忘れることのできない思い出です。

選挙に出馬することにも選出され、2年生の時には生徒会会長に選ばれました。その時に私はもう一つの目標を立てました。その目標とは、この県立石川高校を活気溢れる素晴らしい学校にするということです。

私はその目標を達成する第一段階としてスポーツフェスティバルの競技をクラスが団結して臨めるような競技に変更して、無事に成功を収めることができました。

今年度は3年に一度の大文化祭である石菜祭があります。私たち生徒会はより良い石菜祭を開催することができるよう、これまで頑張ってきました。

石菜祭には、より楽しむためのポイントが沢山あります。中でも、推していききたい演目は「仮装コンテスト」です。各クラスが、個性豊かに装いの競演をします。ふだんおとなしい生徒も、いつもと違う一面を見せてくれると思います。とても楽しい企画です。今年のテーマは「Make our best memory」最高の思い出を共に〜です。このテーマの下、真に生徒一人ひとりが協力し、一生の思い出に残る石菜祭にしたいです。

11月8日(日)の公開日には、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 議会を傍聴

#### しましょう

議会は、本会議・委員会とも傍聴できます。

9月定例会「一般質問」は10月5日(月)の予定です。

#### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 草野 伝明
- 副委員長 関根 武一
- 委員 下山和雄
- 委員 渡邊 實
- 委員 遠藤 貢蔵
- 委員 角田 忍

### 編集後記

今年4月、町内6小学校が新石川小学校としてスタートしました。子ども達が元気に登校している様子がうかがえ、大変うれしく思います。

また、4月の統合に間に合わなかった新校舎も急ピッチで工事が進められており、9月には新校舎に引っ越しができる見通しです。

子ども達も新しい校舎で勉強できることを楽しみにしていることでしょう。

そして、石川町役場新庁舎の建設も来年3月末完成に向けて着々と工事が進められています。

町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、町の大きな事業が少しずつ形になっているところですね。

関根 武一